

課題番号 5

基本方針：Ⅱ		課題名：需要に応じた茶の生産力強化	
対象：山添村茶生産組合		計画期間：R 2～R 4	
		事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R 3年度末）	
①米国向け防除体系の確立	農薬使用履歴・残留値調査 情報提供	米国向け防除取組面積 30ha → 108ha	
②GAP取組の省力化	GAP認証取得・維持支援 支援ツール導入支援	GAP支援ツールの導入 1経営体 → 4経営体	

総合評価（コメント）
<p>A：5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■頑張ってる。茶商（流通）について、何か他部署と連携して打開策はないのでしょうか。 ■概ね成果が上がっており、来年度に向けての課題解決に向け宜しくお願いします。 ■大和茶が世界ブランドになる様に努力下さい。 ■茶の生産力強化は重要な普及活動、これからも取り組んでいただきたい。 <p>B：1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新たな課題への対応を図りつつ、リーディング品目である茶の産地力強化に向け関係機関が一丸となり粘り強く取り組んでほしい。 販売単価の聞き取りなどを通じて茶農家の経営状況を把握し、今後の課題設定に繋げてほしい。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■来年度も、茶生産者団体、市町村、JA、県関係機関と連携して、茶の産地力強化に向けて取り組んでいく。 ■米国向け茶生産については、すぐに販売単価への直結は難しいと考えるが、産地の競争力強化という点で、輸出対応可能な茶生産が持続するよう支援していく。 ■GAP取組の省力化については、引き続きツール導入について支援していく。